

産業廃棄物処理計画書

2025年 6月 9日

大分県知事 佐藤 樹一郎 殿

提出者 〒872-0312

住 所 大分県宇佐市院内町櫛野895番地

氏 名 株式会社イチタン 九州工場

代表取締役 太田 達也

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0978-42-7001

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

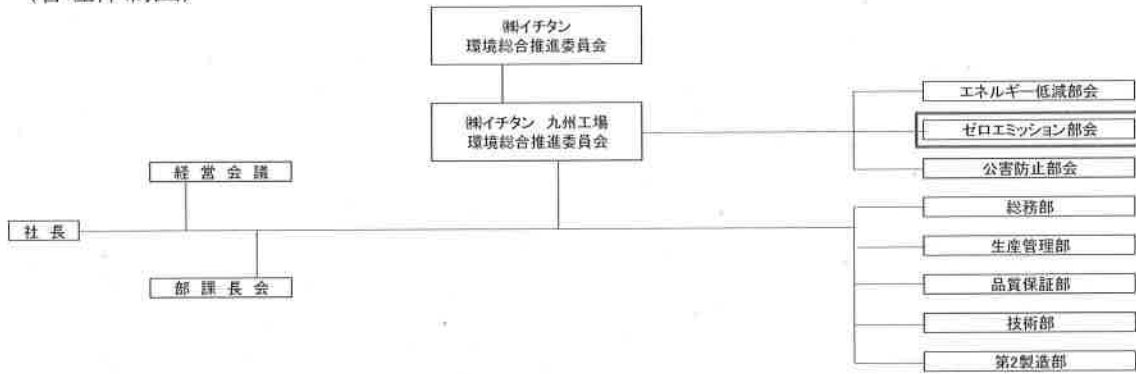
事業場の名称	株式会社イチタン 九州工場
事業場の所在地	大分県宇佐市院内町櫛野895番地
計画期間	2024年4月1日～2025年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	E311 自動車・同附属品製造業
② 事業の規模	
③ 従業員数	120名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<pre>graph LR; A[事業場] --> B(産業廃棄); B --> C[収集運搬業者]; C --> D[中間処理業者]; D --> E[最終処分業者];</pre>

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（2024年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
	排出量	38.94 t	1191.7 t
	(これまでに実施した取組) ・ドラム缶残グリースの再利用 ・離型剤故障低減による塗布量の削減（ユニット予備品製作）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
	排出量	36.99 t	1132.1 t
	(今後実施する予定の取組) ・ドラム缶残グリースの再利用 ・離型剤塗布適正量の見直しによる使用量の削減		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) <分別種類>木屑、廃プラスチック類、ゴム、ガラス陶磁器、廃油、紙屑等 社内規定に基づいて分別・保管を実施
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 社内規定に基づいて分別・保管を実施維持継続する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（ 2024年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
	全処理委託量	38.94 t	1191.7 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ドラム缶残グリースの再利用 ・離型剤故障低減による塗布量の削減（ユニット予備品製作） 		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
	全処理委託量	36.99 t	1132.1 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・ドラム缶残グリースの再利用 ・離型剤塗布適正量の見直しによる使用量の削減		
※事務処理欄			